

テック系ベンチャーを目指す 「エアーモビリティ社会」実現への挑戦と課題

A.L.I. テクノロジーズ

The Established Theory

2019年4月

次世代を支えるインフラ企業となる

ミッション達成に向けた取組み



ホバーバイク“Speeder®”の開発、
エアーモビリティインフラ構築



コンピューティングパワー（演算力）
のクラウド上での貸出しサービスの提供



大手企業や自治体との連携による
先端技術プロダクトの共同開発

ホバーバイク “Speeder®” コンセプト

地上数十cm前後をホバリングして、走行するモビリティ。



日本では、道路運送車両法の保安基準を満たし、公道走行を目指す。

エアーモビリティの
インフラ全般へ展開

Speeder® (Limited Edition) の外観

Standard Model



Sports Model



セキュリティ（災害対応、救命、警備）

- ・大規模災害時（例：水害、津波）の移動
- ・孤立した被災地の住民救助・医薬品搬送
- ・離島、海岸、海上、河川警備

エンターテインメント（レジャー、スポーツ）

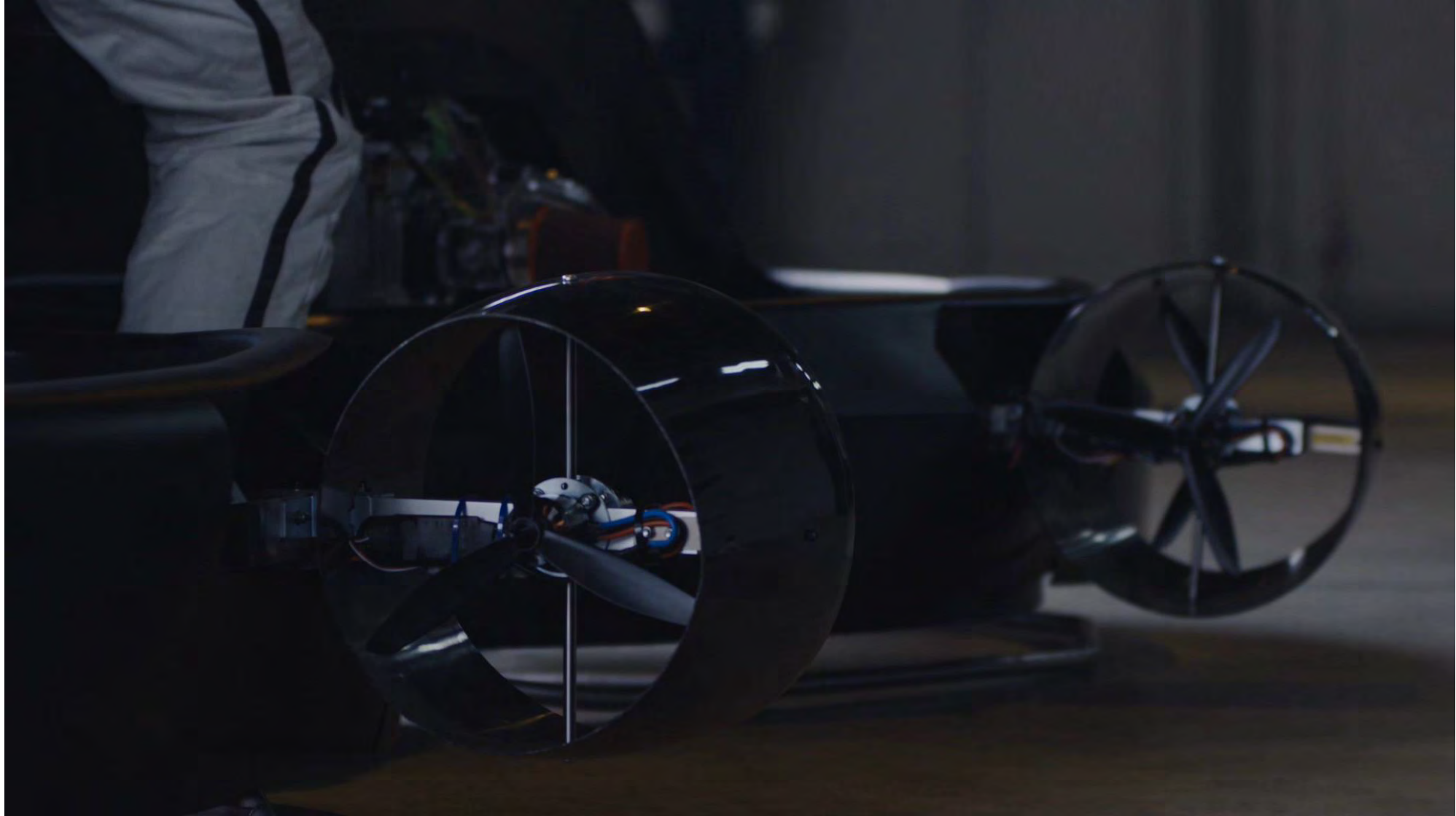
- ・離島や海岸、海上、河川、草原、荒野などのレジャー
- ・ホバーバイクを利用した新しい観光コンテンツ、競技開発

輸送（交通・物流）

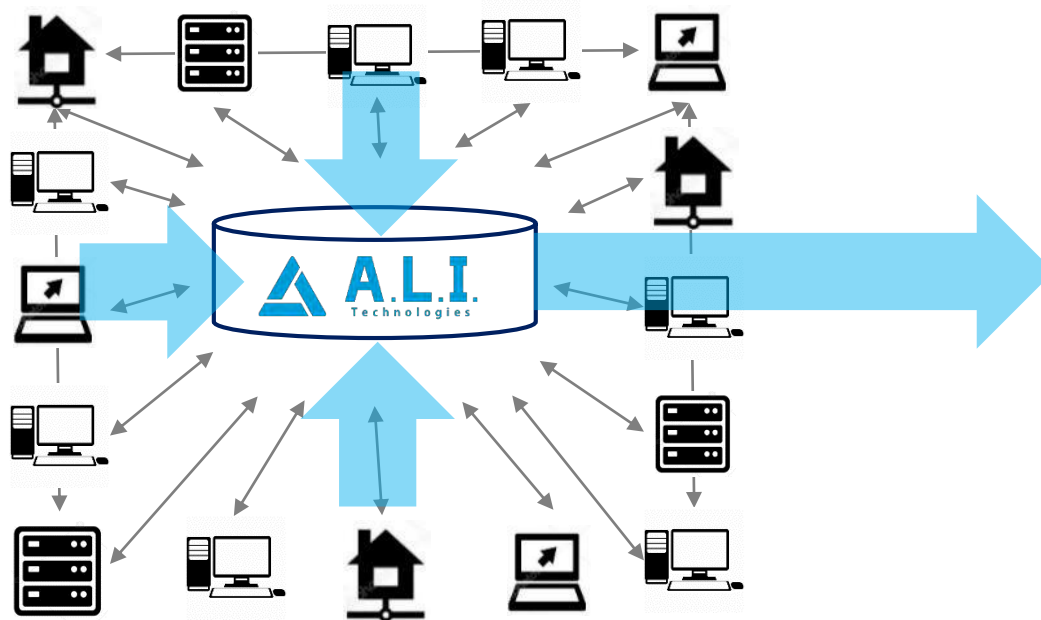
- ・川、湖、砂漠地帯、難移動地帯、危険地帯の移動、発電機として電気の供給
- ・陸上と水上を接続した新しい交通システム
- ・離島、沼地、荒野など交通インフラ未整備地域の物流活用



エアーモビリティ 3月25日に実施した公開実験映像



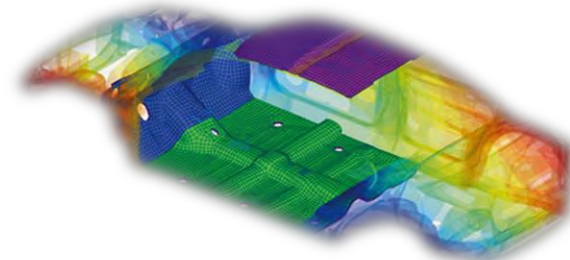
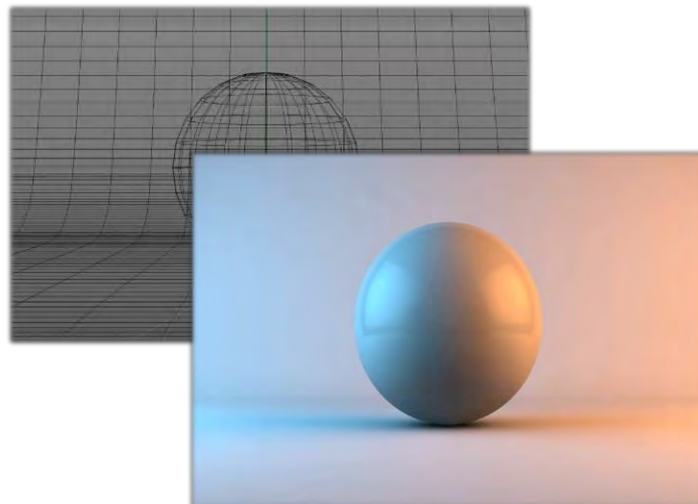
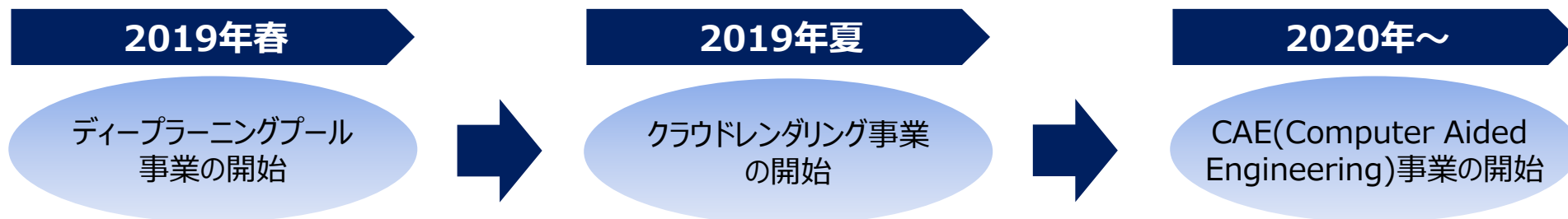
世界中のコンピューティングパワー（高度演算能力）をシェアリングするプラットフォームを構築。
高度計算が必要なとき、必要な領域で、分散している演算能力の効率活用が可能。



コンピューティングパワープール 本事業がもたらすメリット

ディープラーニング（機械学習）や、3Dグラフィック技術の高度化により、演算能力需要がグローバルで上昇することが見込まれる。

クラウド上での貸し出しサービスにより、大幅な処理速度の向上とコスト削減が可能に。



先端技術の開発力を強みに、大手企業との共同開発や、自社開発のプロダクト開発を実行

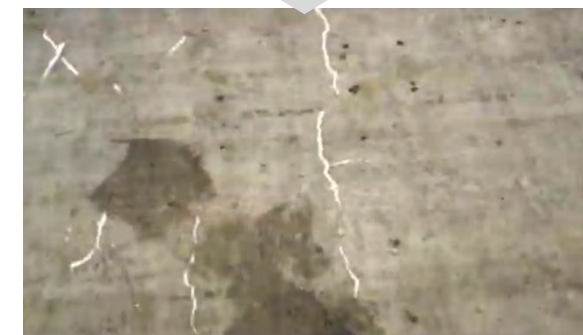
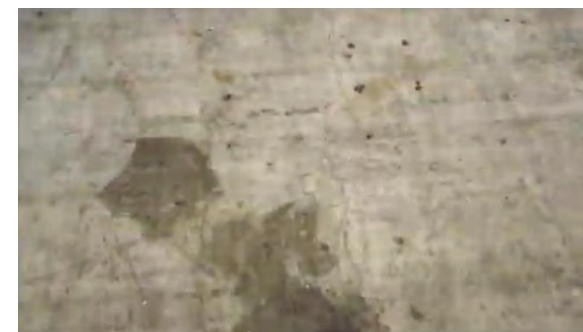
各種ドローンソリューション



ブロックチェーンロッカー

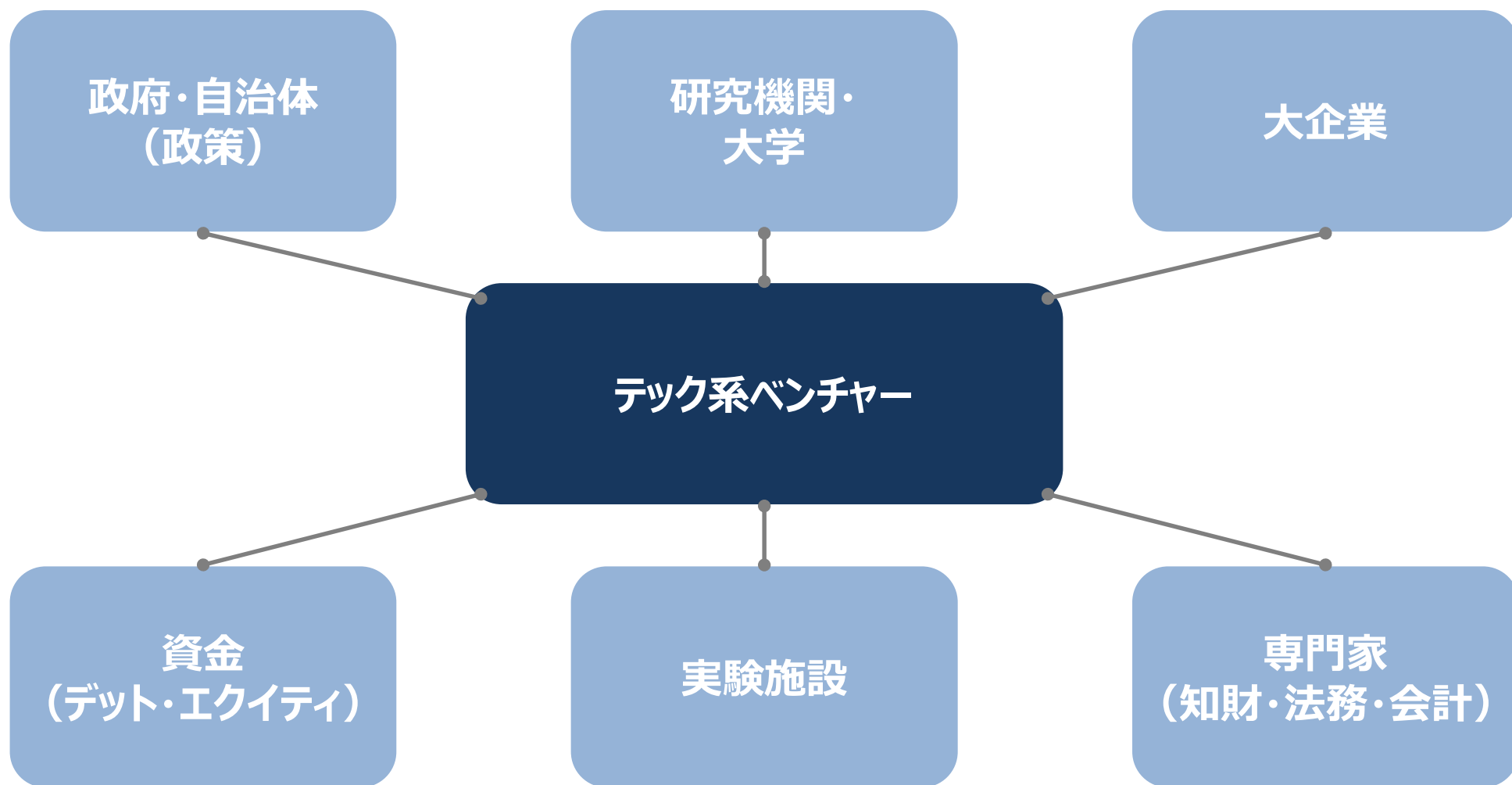


AI画像診断“SMARK®”



ドローン・ブロックチェーン・AI 各種ドローンソリューションのご紹介





スタートアップエコシステム（議論ポイント）

